

租税教育だより



Zoom を活用した租税教室 長野県穂高商業高等学校
(詳細は4ページ(松本)をご覧ください。)

第25号

長野県租税教育推進協議会



個人と社会のウェルビーイングの実現に向けて

長野県租税教育推進協議会長
長野県教育委員会教育長 内堀 繁利

皆様方には平素より、当協議会の事業につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

教育の現場である学校は新型コロナウイルス感染症への対応を余儀なくされていますが、長野県教育委員会では、コロナ禍にあっても児童・生徒の学びを継続するとともに、変化が激しく予測困難な時代を逞しく生きていく子どもたちのための「学びの改革」を着実に進めているところです。

さて、長野県租税教育推進協議会は、県内の教育関係機関や税務関係機関・団体等を中心に構成し、租税教育の推進と充実を図ることを目的に各種事業に取り組んでおります。

租税教育の目指すところは、次代を担う児童・生徒及び学生が、租税の意義や役割を正しく理解し、その使い道に関心を持ち、将来の納税者・主権者として「社会や国・県・市町村のあり方を主体的に考える」という自覚を育てることであり、学校教育法で目標として定める、社会の形成に参画し、そ

の発展に寄与する態度を養う上で大きな意義を有すると考えております。

長野県教育振興基本計画においては「個人と社会のウェルビーイングの実現」を目指す姿として示しています。これからは一人ひとりが自分の個性や可能性を認識するとともに、それぞれの幸せや生きがいを実感し、他者や地域と関わりながら「個人と社会のウェルビーイング」を共に実現していくことができる社会づくりがますます必要になります。

今まで受け継がれてきた先人の取組や知恵といったものを踏まえ、現状を適切に理解し、未来に向けて自ら課題を見つけ解決していく力と、積極的によりよい社会を創造していく資質・能力を身に付けていくことが重要です。国民生活や経済社会と密接に関連する税を通して、現在から未来に向けた地域社会や国のあり方を考える租税教育の果たす役割は益々大きなものとなっています。

当協議会では主な事業として、租税

教室への講師派遣のほか、小学生向け租税教育用副教材「わたしたちのくらしと税金」の作成、「税に関する高校生の作文」、「中学生の税についての作文」への取組支援などを行っています。

「わたしたちのくらしと税金」は、税金のしくみやその使い道をわかりやすく解説したもので、県内の小学六年生全員を対象に配付しており、学校現場等において有効に活用されております。作文募集等の事業については、次代を担う生徒が税の意義や役割についての理解を一層深める一助となるものと認識しており、今後も継続して行っていく予定としています。

今後も感染症対策を実施しながら、租税教室をはじめ各種事業を通じて、子どもたちの税に対する学習を支援して参りたいと考えておりますので、皆様方の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

租税教育推進協議会の活動

の活動

長野県租税教育推進協議会は、内堀県教育長を会長に、県小学校長会長、県中学校長会長、県高等学校長会長、県特別支援学校長会長、県私立中等高等学校協会会長、県市町村教育委員会連絡協議会長、県総務部長、県市長会会長、県町村会会長、県納税貯蓄組合連合会会長、県東信越税理士会長野県支部連合会会長、県法人会連合会会長、長野県財務事務所長、県東信越国税局国税広報聴室長、長野県税務長で構成されています。

協議会では、児童・生徒及び学生等に対する租税教育を推進するために、次のような事業を行っています。

- ① 各学校での租税教室の開催支援
- ② 小学生向け租税教育副教材「わたしたちのくらしと税金」の作成・配付
- ③ 税に関する作文の募集等に関する支援
- ④ 「租税教育だより」の発行

租税教育の充実について

平成23年度税制改正大綱（平成22年12月16日閣議決定）において『租税教育の充実』が掲げられたことにより、小学校、中学校、高等学校、大学等の各学校段階における租税教育の充実や、租税教育を担う教員等に対する意識啓発について協議、確認等を実施し、都道府県、市町村租税教育推進協議会と連携して租税教育の推進及び租税教育の充実のための環境整備を図ることを目的に、平成23年11月16日に、文部科学省、総務省、国税庁で「租税教育推進関係省庁等協議会」を発足しました。

現在まで14回にわたり協議会が開催されており、第14回協議会総会においては以下の事項が合意事項として掲げられています。

〈合 意 事 項〉

1 学習指導要領の着実な実施

租税に関する指導内容（意義、役割、納税の義務等）を明記した小学校・中学校・高等学校の学習指導要領の着実な実施を引き続き図る。

平成29年3月には小・中学校、平成30年3月には高等学校の学習指導要領が改訂され、小学校は令和2年4月、中学校は令和3年4月から実施、高等学校は令和4年4月から年次進行により、段階的に実施されている。これらの新しい学習指導要領の趣旨の周知等を行い着実な実施を図る。

2 「租税教育の充実」についての一層の周知徹底等

租税教育の充実について、各省庁から学校等関係機関（教員等の研修施設を含む）、地方自治体及び国税局（所）・税務署の各関係機関に対し、引き続き、周知徹底を図る。

3 租税教育の充実に向けた具体的取組

- ① 主権者教育の重要性に鑑み、関係機関（財務局、選挙管理委員会、年金事務所等）と連携・協働を積極的に図り、社会科・公民科のみならず、関係する教科等においても、租税教育など社会との接点に関わる教育を重視し、高校生等の社会参画に係る実践力を育成するための取組を引き続き推進する。
- ② 児童生徒の日常の社会生活と関連付けながら具体的な事柄を取り上げ、財政及び租税の意義や役割など、自立した主体としてよりよい社会の形成に参画するために必要な知識及び技能を習得するとともに、それらを活用し考察するなど、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進する。
- ③ 租税教育の事例集（租税教育推進関係省庁等協議会作成）について、教員等に対する意識啓発を図るため、引き続き、教育委員会等に効果的な周知及び配布を行い、各地域や学校における活用を促す。
また、事例集の周知及び配布後における活用状況等の情報共有を図り、必要に応じて改訂を行う。
- ④ 教員等に対する税の啓発活動を支援するため、租税教育推進協議会を中心として、各地域で開催している教員等向けの研修会等に対して、租税教育に関する情報について提供するほか、機会を捉えて講師派遣を行う。
- ⑤ GIGAスクール構想に基づくICT環境の整備に合わせ、租税教育に関する教育コンテンツ等の活用やICT端末を活用した租税教室など、ICTを活用した租税教育を推進する。
また、租税教育に関する教育コンテンツの活用方法や実施した取組事例等については、各省庁等のホームページなどにおいて、これらの周知を図る。
- ⑥ 教員、税の専門家、各地域の税に係る民間団体等及び関係機関等との一層の連携・協働による租税教育の取組（出前授業（租税教室）及び講演会への講師派遣並びに「税を考える週間」（11月11日～17日）における各種行事など）を推進する。
なお、各施策の実施に当たっては、各地域の租税教育推進協議会、民間団体等及び関係機関等が連携・協働して、税に関する授業等の状況や各団体の活動状況の把握に努めるとともに、情報・認識を共有して効果的・効率的な取組となるよう配慮する。



インターンシップ開催!

12月21日、佐久長聖高校の生徒2名が模擬確定申告書の作成や、OCR入力等の体験をしました。来署後すぐに署長室へ案内され、緊張の様子でしたが、署長からの温かい言葉で緊張した顔がほぐれました。税務署での職場体験希望の生徒たちは、真剣に体験に取り組んでいました。



租税教室×授業参観

6月24日、授業参観日の栄村立栄小学校にて、租税教室を開催しました。
児童・保護者の方々に租税について学んでいただき、視察にいらっしゃっていた栄村教育長からも好評のお言葉をいただきました。
終盤には、参加者の皆様に1億円のレプリカで、その重みを体感していただきました。



**ライブ配信により
一日税務署長を実施**

12月15日、中学生の作文で長野県知事賞を受賞した生徒の学校で、放送室からライブ配信により、一日税務署長行事を開催しました。
受賞した生徒から、校長先生に租税教育推進の依頼と作文を披露し、全生徒に対して、より身近に税に対する理解と関心を深めてもらう機会となりました。



授業参観日に租税教室

11月15日、上田市立川西小学校で租税教室を開催しました。なんと、この日は授業参観日!
保護者の方を交えてクイズを出題し、身の回りのものがどれだけ税金で作られているか伝えるとともに、税の意義や役割を説明しました。親子で税金について考えるいい機会となりました。



iPadを利用して租税教室

12月21日、飯綱町立三水小学校で、普段、児童が授業で使用しているiPadを利用して、租税教室が行われました。
児童は、講師からの質問に対し、iPadを利用して回答したほか、国税庁ホームページの「税の学習コーナー」を閲覧したり、税金の使われ方を学習したりすることにより、税金についての理解を深めていました。



**Chromebook 持参で
職場体験**

9月28日から30日の3日間、長野市立長野中学校の生徒3名が、長野税務署で職場体験学習に参加しました。
3日間で、税金の仕組みの学習や税務署の仕事の体験をしたほか、学校から持参したChromebookを使用し、申告書の作成体験も行いました。申告書の作成を体験した生徒は、「思ったより簡単に申告書が作成できた。」と感想を述べていました。

県内各地の租税教育に関するたよりを紹介します。



**法人会青年部が
租税教室講師**

7月14日、木曾町立開田小学校において、一般社団法人木曾法人会青年部が租税教室の講師を務めました。
授業では税金の種類や仕組み、役割について分かりやすく説明し、併せて「絵はがきコンクール」の募集を行い、前年を上回る応募があり、優秀作品は「木曾税務署長賞」を受賞しました。



中学校で租税教育を開催!

7月6日、大町市立仁科台中学校の3年生を対象に、租税教室を開催しました。講師は、関東信越税理士会大町支部の波多江税理士が担当しました。選挙権年齢や成人年齢が引き下げられる中、税についてももっと関心を持つことが大切との講師の説明に、生徒たちはうなずき、税への興味・関心を高めていました。



**信州豊南短期大学で
署長講演を開催!**

11月9日、信州豊南短期大学において、伊那税務署の井上署長が署長講演を行いました。「これからの社会に向かって」と題して、税の役割や使い道、日本の財政状況について講演し、「これから税はどうあるべきか、未来に目を向けて考えてほしい」とこれからの未来を担う学生たちに訴えました。



一日税務署長が大活躍

12月14日、税についての作文で国税庁長官賞を受賞した飯田市立飯田東中学校3年生の下平彩葵さんが一日税務署長を務めました。署長訓示(作文朗読)、模擬決裁、署内巡視のほか、税についての作文事業を行っている飯田地区納税貯蓄組合連合会に署長感謝状を贈呈するなど大活躍し、地元マスコミにも大きく報道されました。



Zoomで租税教室

8月23日に長野県穂高商業高校で租税教室が開催されました。
複数クラス同時開催の依頼であったため、Zoomを使用し、講師は関東信越税理士会松本支部の寺坂税理士が担当しました。
Zoomを使用することにより、生徒全員が同内容の授業を同時に受けられ、また、密になることなく開催できたことに、学校側から好感触を得ることができました。



法人会が小学校で租税教室

6月1日、松本市立島内小学校で租税教室が開催され、一般社団法人松本法人会青年部が講師を務めました。
パワーポイントを用いて、税金の仕組みや役割を説明したほか、消費税率の高いデンマークの医療費と教育費を例に諸外国との違いにも触れ、税金について考えることや選挙に参加することの大切さを伝えました。児童からは、笑い声や驚きの声がかかるなど有意義な時間となりました。

令和4年度 税に関する作文受賞者の紹介

長野県租税教育推進協議会では、税に関する作文の募集の支援を行っています。今年度は県内の中学校・高等学校の生徒の皆さんから7,139編の作品をご応募いただきました。

その中から当協議会では、会長賞を中学校・高等学校の優秀な作品合わせて19編に贈呈いたしました。本号では、各賞を受賞した作品のうち、「国税庁長官賞」を受賞した下平彩葵さん（飯田市立飯田東中学校3年）の作品をご紹介します。

なお、関東信越国税局長賞をはじめ各賞を受賞された皆さんの作品は、紙面の都合上タイトルのみをご紹介します。

国税庁長官賞（中学生の作文）

「税金を、すべての人のために」

飯田市立飯田東中学校三年 下平彩葵

「税金」と聞いて思いつくもの。消費税、酒税、自動車税……。これらの税金は私たちの身近で役立っている。その税金の大切さを教えてくれたのは父だった。
私の父は公務員だ。いつも市役所へ仕事をするために出かけている。そんな父が税の作文を書くとしていた私に言った。
「税金は、正しく使わなければ意味がなくなってしまふ。」

父は昔、税務課にいたそうで、そこで税金について多くのことを学んだという。市役所で扱う税金の大部分は、市民から集められた市民のためのお金であり、間違った使い方は決して許されない。税金について父からこうした話を聞いていて、私はふと、家の近くで行われていた道路の拡張工事のことが頭に思い浮かんだ。父いわく、これにも税金が使われていたらしい。私は驚いた。あの工事現場にも、税金が使われていたのか、と。
この他にも、税金は色々な場所で実は活躍していた、ということを知った。例えば、私の通う中学校。税金があるからこそ、お金をかけずに学校へ通えて、教科書を無料でもらえる。そして、勉強ができる。また、病院でも税金のおかげで、安く診察してもらったり治療を受けたりすることができるのだ。私たちが集められたお金が私た

ちのために使われ、役立っている。税金は、暮らしを支えてくれているありがたい存在、だということがよく分かった。

では、税金がなければどうなるのか。父はすることも話してくれた。日本中の多くの子どもが学校に通えず、子どもでも働いてお金を稼ぐ必要が出てくるかもしれないという。もしも自分がその身になってしまったら。そのことを考えると、怖くなる。中学生の自分に、本当に大人と同じようなことができるのだろうか。さらに、病院でも何万円と高いお金をかけなければならなかったり、普通私たちが乗っている車が通る道路も、それ自体が建設されなかったりするのだ。税金がなければ、私たちの「日常」が消える。その「日常」をつくる税金を、父が懸命に管理してくれていたと思うと、感謝の気持ちでいっぱいになる。父にとって税金は、市民のためという、重い存在、だったのだ。

この作文を通して、税金の重要性や、父のような人の思いを知ることができた。そして、未来へ向かう今こそ、税金についてもっと学ばなければならないようになった。私は大人になったら、必ず税金を納められるようにしたいと思う。その時になったら、この二つのことは忘れないでおきたい。
税金の正しい使い道を考えてくれている人がいること。そして、「税金は、すべての人のためにある」ということを。

◆中学生の税についての作文

国税庁長官賞

「税金を、すべての人のために」
飯田市立飯田東中学校三年 下平彩葵

関東信越国税局長賞

「助け合いの心、援助のバトン」
松本市立丸ノ内中学校三年 水野遙佳

「生活に役立つ」の向こうにある世界」
宮田村立宮田中学校三年 田中李佳

長野県知事賞

「未来の日本が目指すべきもの」
岡谷市立岡谷南部中学校三年 荻原友理奈

長野県議会議員賞

「信号機が教えてくれたこと」
岡谷市立岡谷西部中学校三年 高林花漣

長野県教育委員会賞

「塵も積もれば山となる」
大田市立仁科台中学校三年 竹内えりな

長野県租税教育推進協議会長賞

「税金のおかげで」
長野市立篠ノ井西中学校三年 山本巴恵

「税金と僕」
安曇野市立穂高西中学校三年 太田周作

「税の大切さ」
上田市立塩田中学校三年 古平菜愛

「図書館と税金」
飯田市立飯田東中学校三年 熊谷玲那

「明るい未来に納める税金」
原村立原中学校三年 小林莉緒

「未来の日本は、今にかかっている」
辰野町立辰野中学校三年 坂元唯花

「税への安心と不安」
中野市立南宮中学校三年 土屋南緒

「これからの未来はどうなる？」
大田市立美麻小中学校三年 北村香凛

「未来へのポスト」
佐久市立浅間中学校三年 百瀬 陽

「大切な税金」
大桑村立大桑中学校一年 今井逢紗

◆税に関する高校生の作文

関東信越国税局長賞

「このままでいいのか、私たちの『責任』」
長野県南安曇農業高等学校二年 岡崎 希

長野県租税教育推進協議会長賞

「ふるさと納税とは」
長野県須坂創成高等学校三年 小林愛祐美

「生活を支えている税とその使い道」
長野県南安曇農業高等学校二年 黒岩和葉

「労働者への新しい税」
長野県東御清翔高等学校一年 浅川拓摩

「税が抱える課題と私達が考えていくべきこと」
長野県飯田OIDE長姫高等学校一年 清水実結

「子ども税について」
東海大学付属諏訪高等学校三年 山岸楓果

「学校生活」
長野県赤穂高等学校二年 西村伊夢

「『民のかまど』を通して」
長野県中野西高等学校三年 倉田莉瑚

「消費課税問題」
長野県白馬高等学校一年 吉村もも代

長野県租税連絡協議会長賞

「たばこ税の使い道」
長野市立長野高等学校一年 丸山真央

「税に対する意識を変えるには」
長野県屋代高等学校一年 林 穂乃香

令和四年度

租税教育推進校等表彰

国税庁では、租税教育の推進やその環境整備などに特に功績のあった学校、市町村、教育委員会等に対し、毎年感謝状を贈呈しています。
令和四年度、県内で表彰された学校等は、次のとおりです。

※（ ）内は管轄の税務署

関東信越国税局長表彰

長野県中野西高等学校（信濃中野）

税務署長表彰

学校法人清泉女学院

長野清泉女学院中学校（長野）

松本市立中山小学校（松本）

千曲市立植生小学校（上田）

飯田市立鼎小学校（飯田）

茅野市立湖東小学校（諏訪）

国立大学法人信州大学農学部（伊那）

飯山市立秋津小学校（信濃中野）

大田市立仁科台中学校（大町）

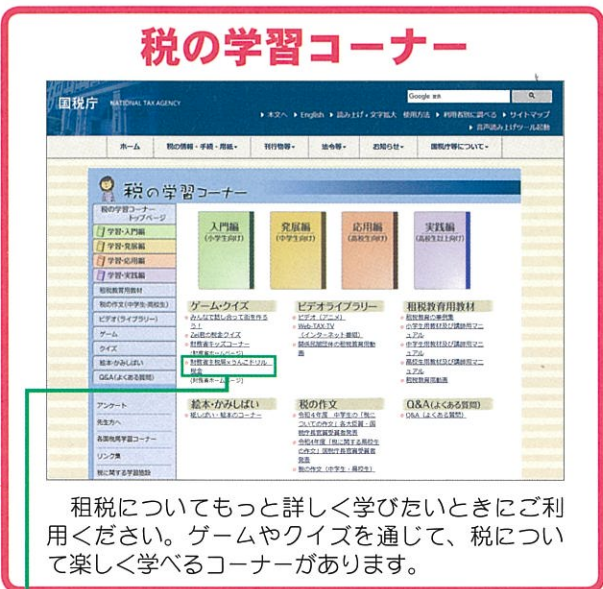
学校法人佐久学園佐久大学（佐久）

信州木曾看護専門学校（木曾）



国税庁のホームページ <https://www.nta.go.jp/> をご利用ください!

(画面は令和5年1月現在のものです。)



租税についてもっと詳しく学びたいときにご利用ください。ゲームやクイズを通じて、税について楽しく学べるコーナーがあります。

国税庁ホームページの「税の学習コーナー」では、税についてもっと詳しく学びたいという児童・生徒の皆さんや先生方が授業で税を取り上げるときに利用していただける資料・教材を提供しています。また、財務省ホームページの「キッズコーナー」でも財政や税金を楽しく学べるコーナーを設けています。

なお、地方税に関することは、長野県や市町村のホームページにおいて、税に関する情報や資料を提供していますので、ぜひご利用ください。

《財務省主税局×うんこドリル》

冊子
※ PDF形式(8MB)

ゲーム

税金の役割について、うんこ先生がクイズ形式で解説。楽しみながら税金について学ぶことができます。

租税教室のご案内

租税教育推進協議会では、次代を担う児童・生徒の皆さんに、税の意義や役割を正しく理解していただくために、講師（税理士会・法人会・県・市町村・財務事務所及び税務署の職員や会員等）を学校に派遣して、県内各地で「租税教室」を開催しています。

◆ 講師の派遣、租税教育に関する お問い合わせ・お申し込みは…

- 〈最寄りの税務署 総務課 または 長野・松本税務署の税務広報広聴官へ〉●●●

長野税務署 026(234)0116	松本税務署 0263(39)3272
上田税務署 0268(22)1234	飯田税務署 0265(22)1165
諏訪税務署 0266(52)1390	伊那税務署 0265(72)2171
信濃中野税務署 0269(22)3151	大町税務署 0261(22)0410
佐久税務署 0267(67)3460	木曾税務署 0264(22)2024